

1. 製品及び会社情報

| | |
|-----------|---|
| 製品名 | : CELLiST™ Basal Media |
| Model No. | : BASAL3 |
| 会社名 | : AJINOMOTO GENEXINE CO., LTD. |
| 住所 | : 105, Jisikgiban-ro, Yeonsu-gu, Incheon 21991, KOREA |
| 担当部門 | : 経営企画本部 |
| 電話番号 | : +82 32-210-2600 |
| FAX番号 | : +82 32-210-2604 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------|---------------------|------|
| 健康に対する有害性 | : 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 区分2B |
| 環境に対する有害性 | : 水生環境急性有害性 | 区分3 |
| | : 水生環境慢性有害性 | 区分3 |

(注) 記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: 飲み込むと有害のおそれ
 眼刺激
 吸入すると有害のおそれ
 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

| | |
|------|--|
| 安全対策 | : 取扱い後は顔や手をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 |
| 応急措置 | : 眼に入った場合: 水で注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も気分が悪い時は、医師に連絡すること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 |
| 保管 | : 非該当 |
| 廃棄 | : 内容物/容器は13項を参照し廃棄すること。 |

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

危険有害成分 :

| 化学名 | 含有量 (%) | 化審法官報公示番号 | 安衛法官報公示番号 | CAS No. |
|------------------|---------|-----------|-----------|------------|
| クエン酸第一鉄 ナトリウム | 10未満 | N/A | N/A | 43160-25-4 |

4. 応急措置

| | |
|-------------|---|
| 吸入した場合 | : 直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。 清浄な水で口の中を十分に洗浄し、必要であれば医師の処置を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 接触した皮膚を石鹼で十分に洗浄する。 必要であれば、医師の処置を受ける。 |
| 眼に入った場合 | : 直ちに流水で最低15分間洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開く。コンタクトレンズを使用している場合は、取り除いて洗浄する。 必要であれば、医師の処置を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 清浄な水で口の中を洗浄し、必要に応じ医師の処置を受ける。 |
| 応急処置をする者の保護 | : 個人用保護具を着用すること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|---|
| 消火剤 | : 散水、二酸化炭素、粉末、泡 |
| 使ってはならない消火剤 | : 利用可能な情報はない |
| 特有の消火方法 | : 現場から待避し、安全な距離から消火活動を行うこと。消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。 |
| 火災時の特有危険有害性 | : 粉じん爆発の危険性があるため、粉じんの発生を最低限に抑えること 燃焼時、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物が放出することがある。 |
| 消火を行う者の保護 | : 個人用保護具を着用する事。消防士は自給式呼吸器及び消火装備を着用する必要がある。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|---------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 | : 保護具を使用する。項目8を参照。 |
| 環境に対する注意事項 | : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。排水が適切に処理されず環境へ排出しないように注意する。 |
| 封じ込め及び浄化方法及び機材 | : 飛散したものを掃き集め、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は大量の水で洗い流す。 |
| 回収、中和 | : 利用可能な情報はなし |
| 二次災害の防止策 | : 環境規制に従って汚染された物体場所をよく洗浄する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|---|
| 取扱い | |
| 技術的対策 | : 項目8に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 |
| 安全取扱い注意事項 | : 個人用保護具を着用すること。 環境への放出を避ける。 取扱い後は顔や手を良く洗う。 |
| 保管 | |
| 適切な保管条件 | : 密閉した容器に入れ、冷暗所（2～8℃）で保管する。 湿気、直射日光、高温を避ける。 |
| 混触禁止物質 | : 利用可能な情報はない |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|-----------------|--------------------------|
| 設備対策 | : 大量に使用する場合は局所排気措置を設置する。 |
| 管理濃度 | : データなし |
| 許容濃度 (日本産業衛生学会) | : データなし |
| 許容濃度 (ACGIH) | : データなし |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具 | : 必要に応じて防塵マスクまたは送気マスク |
| 手の保護具 | : ゴム製保護手袋 |
| 眼の保護具 | : 保護眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 長袖保護衣 |
| 適切な衛生対策 | : 産業安全および安全の基準に基づいて取り扱う。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------|---------------|
| 外見 | : 帯黄白色～濃黄色、粉末 |
| 臭い | : データなし |
| pH | : 5.8～6.4 |
| 融点/凝固点 | : データなし |
| 初留点と沸点範囲 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 火炎燃焼性 (固体、気体) | : データなし |
| 上限/下限、引火または爆発限界 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 相対密度 | : データなし |
| 溶解度 | : データなし |
| n-オクタノール/水分配係数 | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 粘度 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------|
| 安定性 | : 推奨保管条件下で安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : 通常の条件ではなし。 |
| 避けるべき条件 | : 湿気、高温 |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし |

11. 有害性情報

| | |
|-----------------|---------|
| 急性毒性 | : データなし |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | : データなし |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 | : データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | : データなし |
| 生殖細胞変異原性 | : データなし |

| | |
|-----------------|---------|
| 発がん性 | : データなし |
| 生殖毒性 | : データなし |
| 特定標的臓器特性 (単回暴露) | : データなし |
| 特定標的臓器特性 (反復暴露) | : データなし |
| 吸引性呼吸器有害性 | : データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|--------------|
| 生態毒性 | : 利用可能な情報はない |
| 残留性・分解性 | : 利用可能な情報はない |
| 生体蓄積性 | : 利用可能な情報はない |
| 土壌中の移動性 | : 利用可能な情報はない |
| オゾン層への有害性 | : 利用可能な情報はない |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|--------------------------------|
| 残余廃棄物 | : 廃棄は国、地域、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。 |
| 汚染容器及び包装 | : 廃棄は国、地域、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|----------------|--|
| ADR/RID (陸上) | : 規制されていない |
| IMDG (海上) | : 規制されていない |
| IATA | : 規制されていない |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | : 湿気、高温および容器の破損を避けること。 取扱いおよび保管上の注意の項の記載にも注意する。 |

15. 適用法令

| | |
|------------------|---|
| 消防法 | : 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 労働安全衛生法 | : 名称通知危険/有害物 (第57条の2、令第18条の2別表9) クエン酸第一鉄ナトリウム(鉄水溶性塩) No. 352 |
| 化学物質管理促進法(PRTR法) | : 非該当 |

16. その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、ご利用ください。

また、法令の改正や新しい知見に基づいて改定されることがあります。

※このSDSはAjinomoto社で作成したSDSを参照し作成しました。